

| |
|-----------|
| 学校目標・経営方針 |
|-----------|

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 本年度の重点目標 | 1 自主的創造的な学習態度の育成 |
| | 2 剛健の気風と豊かな人間性の育成 |
| | 3 規律節制を守る自律的生活態度の育成 |
| | 4 魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進 |

| | |
|-----|-------------------|
| 達成度 | A ほぼ達成できた。(8割以上) |
| | B 概ね達成できた。(6割以上) |
| | C 不十分である。(4割以上) |
| | D 達成できなかった。(4割以下) |

| | |
|----|--------------|
| 評価 | 4 良くできている。 |
| | 3 できている。 |
| | 2 あまりできていない。 |
| | 1 できていない。 |

自己評価

| 番号 | 評価項目 | 本年度の重点目標 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 年度末評価(令和6年3月15日現在) | |
|----|---------------------------------|--|--|---|--------------------|---|
| | | | | | 自己評価結果 | 達成度 |
| 1 | 自主的創造的な学習態度の育成 | ① 主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICTを利用した活動や考えを表現する活動を充実させる。さらに、情報編集力の習得に向けた取り組みを行う。 ② 適切な宿題・課題、ICTの活用による授業外学習時間の確保と習慣化を目指す。 ③ ポートフォリオ導入など適切な進路情報の提供と、進路目標に応じたきめ細かな指導を行い、進路志望実現率を向上させる。 ④ 生徒の学習改善と教員の授業改善につながる観点別評価の修正および取り組みを行う。 | 各教科の目標に対する達成度及び授業アンケート 適切な学習課題を与え、継続的に取り組ませる。各教科の達成度と授業アンケート 的確な進路志望の把握と進路目標に応じた学習環境を提供した上での進路実現の達成度 3観点での評価方法および評定決定方法について作成 | ・授業等でICTを利用した活動や考えを表現する活動は、概ね達成できている。 ・家庭学習に向けた指導がなされているが、進路実現に向けた指導に継続的に研究していく。 ・家庭学習に取り組めるような指導を検討していく必要がある。学習記録表の有効活用についても検討していく。 ・ポートフォリオの活用は実施でき、進路希望の実現については概ね達成できている。 ・観点別評価について、生徒の学習活動を見取り、客観的な根拠のもとに評価ができている。 | B | ・ICTの活用は個別最適な学習ツールとして知識・技能の習得に効果的であり、今後もさらに継続的に研究していく。 ・家庭学習に取り組めるような指導を検討していく必要がある。学習記録表の有効活用についても検討していく。 ・ポートフォリオの活用はできてはいるが、進路実現に向けた指導や取り組みについて組織的に対応するようにしていく。 ・観点別評価について事前に生徒に知らせ、基準を明確にすることで生徒の取り組みを活性化していく。 |
| 2 | 剛健の気風と豊かな人間性の育成 | ① 本校の実情にあった部活動や委員会のあり方の検討や活動状況の把握に努め、さらなる活性化を図る。また、地域人材を活用した業務改善を図る。 ② 業務の効率化を図り、放課後等に生徒相談を行う。 | 教員数減に伴う部の見直し状況と部活動・委員会活動満足度の調査 設定したきずなの日を活用 | ・感染症対策に従い部活動において制限期間があったが、本校の実情にあった取り組みができ、関東大会入賞や全国大会出場など実績を残すことができた。 ・生徒の悩み相談や進路の年間を通して面談が行われ、適切なアドバイスを受けているという項目は、90%以上の肯定的な評価が得られた。 | B | ・生徒数、教員数定数減の中で、部活動の活性化のために学校内外の多様な教育資源の活用体制を構築していく。また文化部は発表の場を多く設けるように工夫していく。 ・会議資料のペーパーレス化をさらに進め、資料の事前配付を行う会議の効率化を図る。 |
| 3 | 規律節制を守る自律的生活態度の育成 | ① 基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実させる。 ② 頭髪・服装指導やスマートフォン等の正しい活用方法の指導を充実させる。 | 遅刻や健康観察入力の状況等 年次やスクールライフ部の記録 | ・多くの生徒が挨拶や服装等学校の規律が守ることができている。 ・SNSに関する講演会を行い、社会における基本的なマナーや規範意識の向上に務めた。 | A | ・生徒が学校の内外にかかわらず社会規範を意識した行動がとれるように指導していく。 ・基本的な生活習慣の確立に向けて、保護者との連携ツールを設け周知徹底していく。 ・SNS等の利用等の社会におけるマナーや規範意識の向上に向けた講演会を実施していく。 |
| 4 | 魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進 | ① 学校運営協議会において、学校の教育方針を伝えると同時に、地域の方から建設的な意見を伺い、信頼される学校づくりに取り組む。 ② 魅力的なHPや情報誌の作成を進め、地域・保護者や中学生に学校の様子を発信・公開する。 | 学校運営協議会の開催回数や、伺った意見のうち取り入れて改善した項目数 HP更新・情報誌発行状況 | ・学校運営協議会では、本校の課題について、たくさんの建設的な意見をいただき、課題解決の方策について方向性を明確にすることができた。 ・HP、情報誌など、中学校向けに本校の教育活動について発信することができた。特に、情報誌の配付は組織的に行うことができた。 | B | ・学校運営協議会でいただいた本校の魅力発信方法を実施していく。さらに地域との関わりを多く持ち地域とともある学校づくりを推進するために、委員構成を検討していく。 ・新しいHPに変更し、今まで以上に速やかに更新し内容の見直しも行う。また、多くの教員や生徒から直接発信する方法などについて検討を行う。 |

学校関係者評価

| 実施日(令和6年3月21日) | |
|----------------|--|
| 評価 | 意見・要望等 |
| 3 | ・キャリア教育については、3年間の系統的な指導により、生徒が自己と対峙しながら進路目標を明確にし、目標の実現に向かって努力しようとする姿が総合学科発表会などで見られていたと思います。 ・授業アンケートや学校改善点検シートの結果を見ると、先生方は授業改善に努力し、生徒の理解を高める工夫がされていると思います。 ・授業アンケートの結果から生徒たちの予習・復習や家庭学習の習慣化に少し課題がありそうです。 ・生徒数が少ないことを考慮し、生徒に個別の指導を行い、充実したキャリア教育が行われているように感じた。 ・業アンケート結果から授業の予習・復習・家庭学習習慣の改善を図る取り組みが必要だと思います。ここが「きちんとしている」などに多くなれば進路先も希望が叶う、満足度の高い結果につながっていくと思います。 |
| 3 | ・今後も小規模校であることのメリットを活かして、きめ細やかで一人ひとりに寄り添った指導をして欲しいと思います。 ・部活動は数少ないけれども生徒たちの良さややる気を高める活動になっていると思います。今後も地域に貢献できる活動を進めたいと思います。 ・部活動では演劇部の活躍などもあり、他高との差別化により生徒募集につなげていただきたい。 |
| 4 | ・スマホやICTの利活用に関わって情報モラルの向上を資する指導の充実を期待しています。 ・中学校で集団生活になじめなかった生徒が高校で普通にみんなと授業を受けられている様子を見て安心しました。今後も可能な限り、個別の支援が必要な生徒への配慮をお願いいたします。 ・高校における活動は十分に行われていると感じた。家庭に戻ってからの個々の生活態度の育成にもつなげていただきたい。 |
| 3 | ・異校種との連携に関しては、担当職員が時間をさかなければならず、大変かと思いますが、事業のあり方を検討しながら焦点化した活動にするなど工夫しての取り組みをすすめて欲しいと思います。 ・今回の運営協議会の中で学校評価に関わる「学校改善・点検アンケート」「授業アンケート」の説明を詳しくして頂き、より良い学校づくりに取り組まれていることがわかりました。授業アンケートは教員の通信表のようなものです。先生方が自分にも厳しより良い授業づくりに努力されていることに敬意を表します。 ・生徒募集について、地元の自治体から積極的になるように働きかけていただきたい。 |

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。